

ネイティブ パークホルデリア属 リポタンパク質リパーゼ

Cat. No. NATE-0417

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 リポタンパク質リパーゼ (LPL) は、グリセロールエステル加水分解酵素です。LPLを生成するいくつかの細菌は、シュードモナス属、セラチア属、ムコール属に属します。リポタンパク質リパーゼは、血漿リポタンパク質中のトリグリセリドを加水分解し、筋肉や脂肪組織での代謝目的のために脂肪酸を放出します。

用途 リポタンパク質リパーゼは、大腸癌における脂肪生成酵素の役割を評価する研究に使用されました。また、ラットにおける低分子量ヘパリンのリパセミック活性を調べる研究にも使用されました。

別名 リポタンパク質リパーゼ; クリアリングファクターリパーゼ; ジグリセリドリパーゼ; ジアシलगリセロールリパーゼ; ポストヘパリンエステラーゼ; ジグリセリドリパーゼ; ポストヘパリンリパーゼ; ジアシलगリセロールヒドロラーゼ; リピーミアクリアリングファクター; EC 3.1.1.34; 9004-02-8; LPL

製品情報

由来 パークホルデリア属

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.1.1.34

CAS登録番号 9004-02-8

活性 > 50,000 ユニット/mg 固体

単位定義 1ユニットは、p-nitrophenyl butyrateを基質として使用し、37°CでpH 7.2の条件下で1分あたり1.0 nmoleのp-nitrophenolを放出します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C